

2012年度版

環境報告書

(2012年4月~2013年3月のまとめ)

とちぎコープ生活協同組合

理念

CO-OP ともしはぐくむくらしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつのくらしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してくらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。

環境方針

北関東三生協（いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま）は、「環境に配慮したくらし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープネットグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制および北関東三生協が受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO₂削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

2010年8月31日 制定
いばらきコープ生活協同組合
専務理事 鶴長 義二

とちぎコープ生活協同組合
専務理事 福田 雅彦

生活協同組合コープぐんま
専務理事 梅澤 義夫

2012年度とちぎコープ目的目標

(2012.9.10)

【環境方針1】 地球温暖化につながるCO2の削減に取り組みます。			
中期的な目的目標			
目的	年度	計画数値 (基準年比)	主要な達成手段
全体のCO2総排出量を削減します。基準年2005年 4,905t	2012年度	4500 t (91.7%以内)	
	2013年度	4382 t (89.3%以内)	
	2014年度	4135 t (87.2%以内)	
目標1	年度	計画数値	主要な達成手段
電気使用量を削減します。電気の使用量を(前年比 <u>116.5%</u>)以内におさえる。 2011年 7302416kwh	2012年度	全体 <u>116.5%</u> 以内 (目標値 8,504,716kwh) 宅配 <u>168.8%</u> 以内 店舗 SM <u>105.3%</u> 以内 店舗 ミニ <u>101.5%</u> 以内 本部 <u>100.7%</u> 以内	店舗ショーケース変更検討 照明 LED
	2013年度	<u>108.0%</u> 以内 (目標値 7,874,937kwh)	運用管理 省エネ機器導入検討
	2014年度	<u>105.5%</u> 以内 (目標値 7,692,647kwh)	運用管理 省エネ機器追加導入
目標2	年度	計画数値	主要な達成手段
宅配センターの配送車両の燃料を削減します。自前軽油の使用量を(<u>108.0%</u>)以内におさえる。	2012年度	<u>108.0%</u> 以内 目標値 (<u>130,811</u> ℓ)	エコドライブ推進 配送効率向上
	2013年度	<u>100.7%</u> 以内 目標値 (<u>121,897</u> ℓ)	BDF車両導入検討 エコドライブ推進 配送効率向上
	2014年度	<u>100.3%</u> 以内 目標値 (<u>121,413</u> ℓ)	BDF車両導入拡大 エコドライブ推進 配送効率向上
2012年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門
電気の使用量を(<u>116.5%</u>)以内におさえる 宅配 <u>168.8%</u> 以内 店舗 SM <u>105.3%</u> 以内 店舗 ミニ <u>101.5%</u> 以内 本部 <u>100.7%</u> 以内	省エネ機器導入検討 運用管理強化	環境管理責任者 補佐 各部門	管理部、総企、コープデリ 宅配事業部、SM事業支援、 ミニコープ支援
自前軽油の使用量を(<u>108.0%</u>)以内におさえる	エコドライブ、ポイント 間走行距離削減	環境管理責任者 補佐 コープデリ宅配 事業部長	・ポイント間走行距離前年 比1%削減 ・配送トラック燃費前年比 1%向上 (以上、コープデリ宅配事 業部部門目標)

※目的・目標の増減比は、11年度対比です。(方針1のCO2排出量削減のみ、05年対比)

【環境方針2】 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。				
中期的な目的目標				
目的	年度	到達状況、及び、主要な達成手段		
事業系一般ゴミの削減をします。	2012年度	全体 1%削減		
	2013年度	全体 2%削減		
	2014年度	全体 3%削減		
目標1	年度	計画数値	主要な達成手段	
事業系一般ゴミの削減をします。	2012年度	全体 1%削減 (宅配 現状維持 店舗 SM 1%削減 店舗 ミニ 1%削減 本部 1%削減)	・紙ゴミの分別徹底、 ・リサイクル(紙チラシなど)、 ・店内レジ撒きチラシの発注精度アップ、	
		2013年度	全体 2%削減	前年度取り組みの反映
		2014年度	全体 3%削減	前年度取り組みの反映
	2012年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門	
事業系一般ゴミの削減をします。 全体 1%削減	・紙ゴミの分別徹底、・リサイクル(紙チラシなど)、・店内レジ撒きチラシの発注精度アップ、	管理部統括 事業統括 デリ宅配部長 総企統括	管理部、総企、デリ事業部、 SM 事業支援、ミニコープ支援、	

【環境方針3】 組合員とともに環境活動を取り組みます。				
中期的な目的目標				
目的	年度	計画数値	主要な達成手段	
組合員とともに環境活動を取り組みます。	2012年度	10%増加(2,420人)		
	2013年度	15%増加(2,530人)		
	2014年度	20%増加(2,640人)		
目標	年度	計画数値	主要な達成手段	
環境活動に参加する組合員を増やします。	2012年度	10%増加 参加者目標(2,420人)	・「コープみんなでエコ!今こそ節電!!」の取組み、・生産者交流(土の会、あぜ道)	
		2013年度	15%増加(2,530人)	前年度取り組みの反映
		2014年度	20%増加(2,640人)	前年度取り組みの反映
	2012年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門	
環境活動に参加する組合員を増やします。 10%増加 参加者目標(2,420人)	・「コープみんなでエコ!今こそ節電!!」の取組み、・生産者交流(土の会、あぜ道)	総合企画室統括 執行役員	総合企画室	

※目的・目標の増減比は、11年度対比です。(方針1のCO2排出量削減のみ、05年対比)

環境方針（1）

とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連とともに「温暖化防止自主行動計画」を作成し、二酸化炭素の排出量の削減に取り組んでいます。

とちぎコープの事業活動による二酸化炭素の排出は、電気使用由来によるもの（約71%）と車両燃料由来によるもの（約27%）とが、ほとんどを占める構成となっています。2012年度は、この2項目を環境目標に設定して取り組みました。

2011年度は2011年3月の東日本大震災後の原子力発電所の稼働停止による電力不足から節電や事務所の照明をLEDに代えるなどで使用量を大幅に削減しましたが、2012年度はデリ宅配で使用するドライアイスの供給不足が懸念されたため、代わりに冷凍蓄冷材用に凍結庫をデリ宅配センターに導入しました。また店舗においても店内照明を間引きして節電に努めた2011年に比べると通常営業に戻ることが見込まれましたので、電気の使用量は増えて、2011年度より506トン増の4,500トンの計画を立てました。結果は電気の使用量は計画内でしたが、委託会社を含む車両燃料が計画を超え計画を達成することができませんでした。

【目的】2012年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を2005年度比405トン削減します。

【2012年度目標】とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4500トン以下にします。

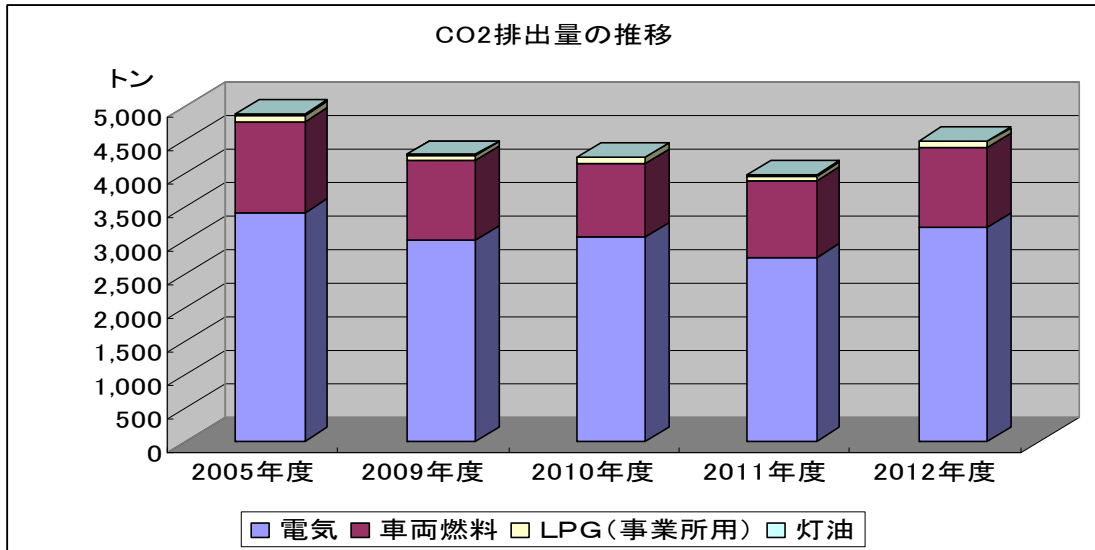
【個別目標1】電気使用由来の二酸化炭素排出を3,215トンにします。

【個別目標2】車両燃料由来の二酸化炭素排出を1,181トンにします。

	実績（トン）	計画（トン）	計画比	評価
全体	4,502	4,500	100.0%	×
電気	3,209	3,215	99.8%	○
車両燃料	1,197	1,181	101.4%	×
LPG	78	85	91.7%	○
灯油	19	20	95.5%	○

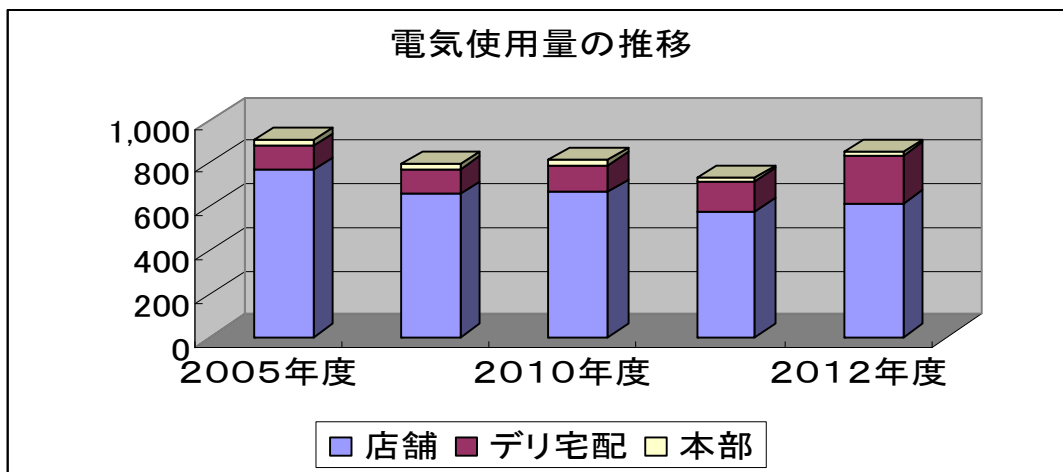
○ 基準年2005年度からの推移 CO2（トン） 電気のCO2排出係数0.378kg/kwh

主要な排出項目	2005年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
電気	3,425	3,009	3,061	2,760	3,209
車両燃料	1,365	1,195	1,095	1,131	1,197
LPG(事業所用)	97	74	93	84	78
灯油	17	15	17	19	19
合計	4,904	4,293	4,266	3,994	4,502



○ 電気使用量の推移

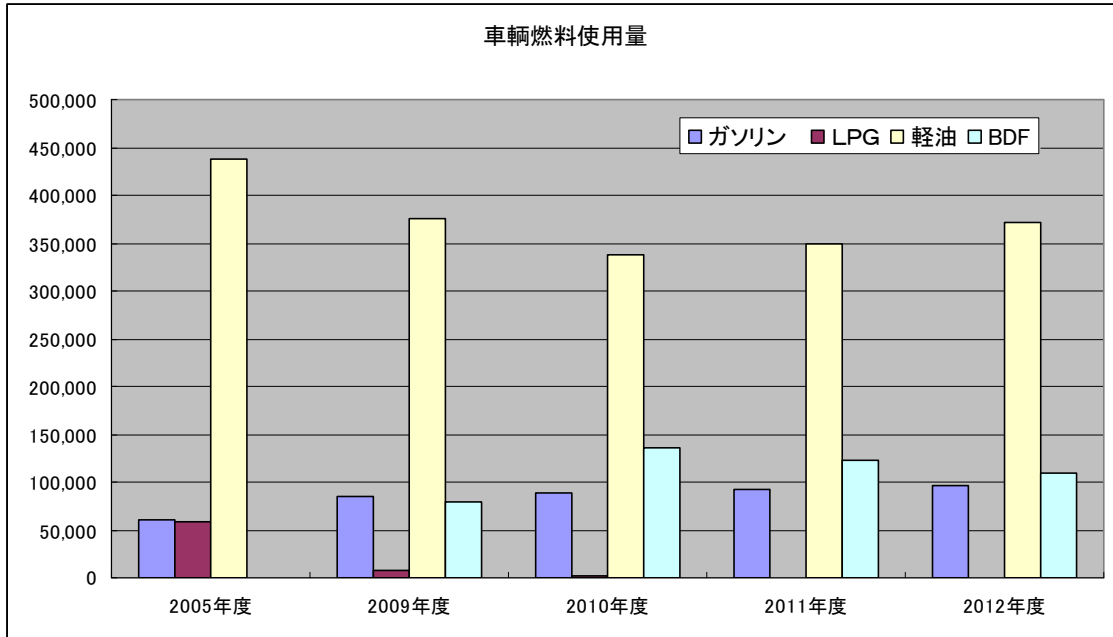
単位kwh	2005年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
店舗	7,669,956	6,575,037	668,285	5,793,745	6,128,652
デリ宅配	1,072,422	1,154,364	1,219,730	1,351,668	2,213,100
本部	319,449	231,696	210,026	157,003	147,294



おもちゃのまち店の改装では省エネ対策としてドアのついた冷凍ケースに代えるなど対策をしましたが、デリ宅配センターに導入した冷凍蓄冷材凍結庫の影響で使用量は増えてしまいました。

○ 車両燃料の使用量推移 単位 L

燃料種別	2005年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
ガソリン	59,568	84,118	88,909	91,972	96,053
LPG	59,364	6,623	2,530	0	0
軽油	438,446	376,271	337,186	349,659	371,027
BDF	0	78,368	135,800	122,356	108,537



車輛燃料の大部分は配送トラックで使用します。デリ宅配全体では、計画比 101.4%（前年比 103.2%）の実績で年間目標をオーバーしてしまいました。エコドライブの実践、地図システムを活用し配送コースの効率向上等で、燃費の向上に努めています。バイオディーゼル燃料はの実験導入の範囲を拡大し、化石燃料に由来する二酸化炭素（温暖化防止自主行動計画や省エネルギー法等に基づく集計範囲）の排出削減をすすめました。

バイオディーゼル燃料を使用する車輛は53台になりました。

とちぎコープの二酸化炭素排出量の推移

単位(トン)

年度	店舗		コープデリ宅配		全体	
	CO ₂ 排出量	2005 年度比	CO ₂ 排出量	2005 年度比	CO ₂ 排出量	2005 年度比
2005	2,948	100%	1,747	100%	4,905	100%
2006	2,734	92.7%	1,621	92.8%	4,565	93.1%
2007	2,767	93.9%	1,718	98.3%	4,726	96.4%
2008	2,571	87.2%	1,701	97.4%	4,494	91.6%
2009	2,518	85.4%	1,561	89.4%	4,278	87.2%
2010	2,560	86.8%	1,616	92.5%	4,266	87.0%
2011	2,229	75.6%	1,679	96.1%	3,995	81.4%
2012	2,356	79.9%	2,054	117.6%	4,503	91.8%

環境方針（２） 廃棄物の削減と再資源化

【目的】 廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【2012年度目標】 事業系一般廃棄物を前年比1%減らします。

※（宅配100%、SM99.0%、ミニ 99.0%、本部99.0%）

	実績 (Kg)	計画 (kg)	計画比	評価
全体	154,380	167,440	90.5%	○
宅配	32,977	34,517	87.4%	○
SM	99,330	106,613	93.2%	○
ミニ	20,624	24,765	83.3%	○
本部	1,450	1,545	93.9%	○

事業系一般廃棄物の削減計画は全業態すべて達成しました。

おもちゃのまち店、越戸店、鶴田店およびミニコープ全店におけるレジ袋削減の取り組みでは、持参率はミニコープが96.4%、スーパーマーケットでは、82.0%となりました。栃木店では、市のレジ袋削減協議会に参加し、レジ袋削減のための話し合いを継続しています。

環境方針（３） 組合員とともに環境活動を取り組みます

【目的】 環境活動に参加する組合員を増やします。

【2012年度目標】 「コープみんなでエコ！今こそ節電！！」の取り組み・生産者交流会等に参加する組合員数を2,420人以上にする。

1日エコライフ 1268人、とちぎ発エコチャレンジ 246人、生産者交流会のべ487人、合計 2001人の参加でした。1日エコライフの参加者が大きく減ってしまいました。

またエコテックとちぎに、栃木県生協連として出展参加しました。

その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

**環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、
情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。**

組合員のみなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。2012年度のパフォーマンス項目の達成状況は下記のとおりです。

【環境配慮商品の普及】

	当年度	前年度	前年度比	増減
点数（点）	493,343	499,245	98.8%	↓
金額（千円）	226,829	243,470	93.2%	↓

対象商品：①日生協「環境配慮商品」（環境に配慮した食品含む）、②日生協「ちょこっとエコ商品」、③エコマーク商品、④グリーンマーク商品、⑤再生紙Rマーク商品、⑥PETボトルリサイクル推進協議会マーク、⑦飲料品紙容器マーク商品、⑧JAS有機農産物表示と特別栽培農産物に関わる表示ガイドラインに基づき生産された農産物、⑨上記以外の環境配慮商品（コープネット環境配慮商品、無洗米などでコープネットで認定したもの）

**組合員さん参加のリサイクル活動、及び事業から排出する
廃棄物の発生抑制とリサイクル活動を推進します。**

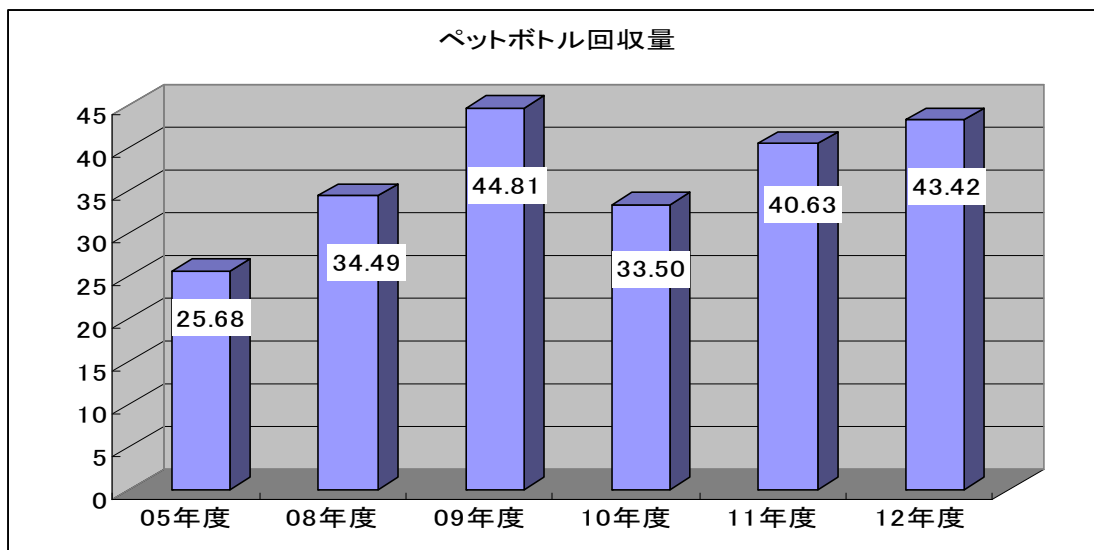
従来から取り組んでいる組合員さんに協力いただいているリサイクル品については、適宜回収ルールを含めた情報提供を行い、継続してリサイクル活動に取り組みました。

リサイクル品は各センター・店舗に商品を配送するトラックの戻り便を利用して千葉県野田市のコープネット・エコセンターに集めます。エコセンターでは圧縮減容して業者に資源物として売却しています。

【組合員さん参加のリサイクル】

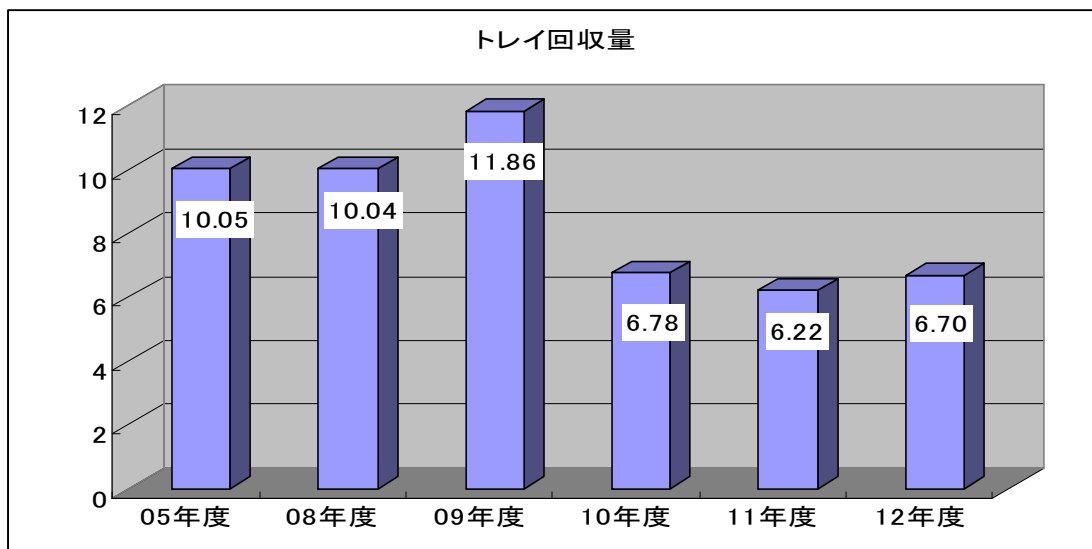
項目	当年度 (kg)	前年度 (kg)	前年度比	評価
ペットボトル	43,421	40,627	106.9%	↑
トレイ	6,695	6,218	107.7%	↑
資源紙	1,605,644	1,472,609	109.0%	↑
紙パック	65,089	60,445	107.7%	↑
アルミ缶	5,873	5,465	107.5%	↑
卵パック	7,068	6,081	116.2%	↑
シッパ内袋	27,771	31,615	87.8%	↓

● ペットボトル



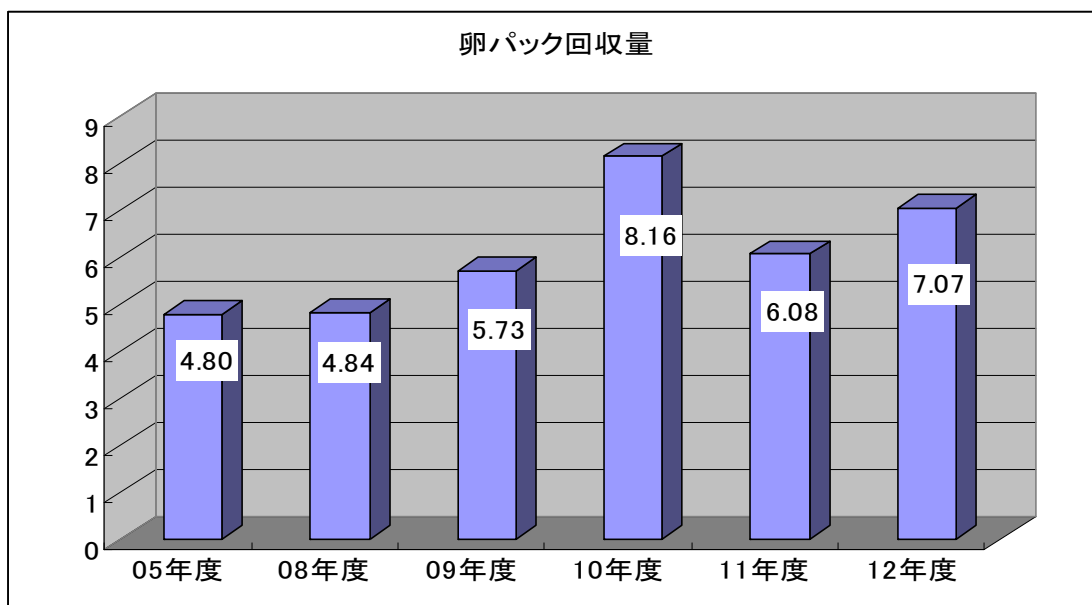
エプロンや軍手などの繊維製品に生まれ変わります。とちぎコープのすべての店舗、デリ宅配センターで回収しています。

● トレイ



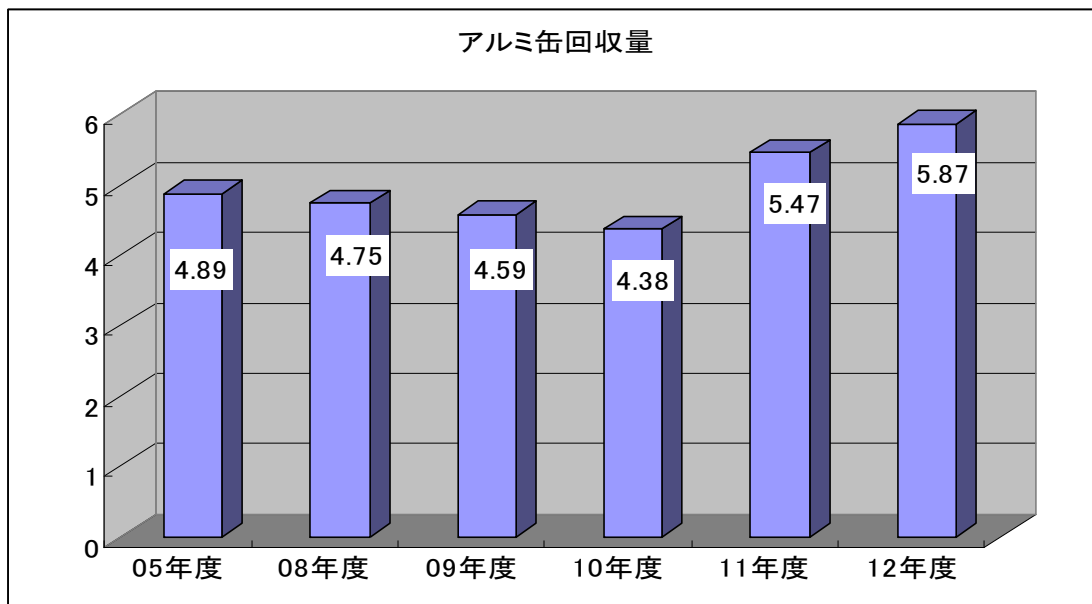
エコベンチ、テーブルの芯材、文房具などになります。発泡トレイに限りとしぎコープのすべての店舗、デリ宅配センターで回収しています。非発泡のトレイ（ようじが刺さらないもの、透明・半透明素材のトレイ、カップ麺・納豆の容器などは回収できません。

● 卵パック



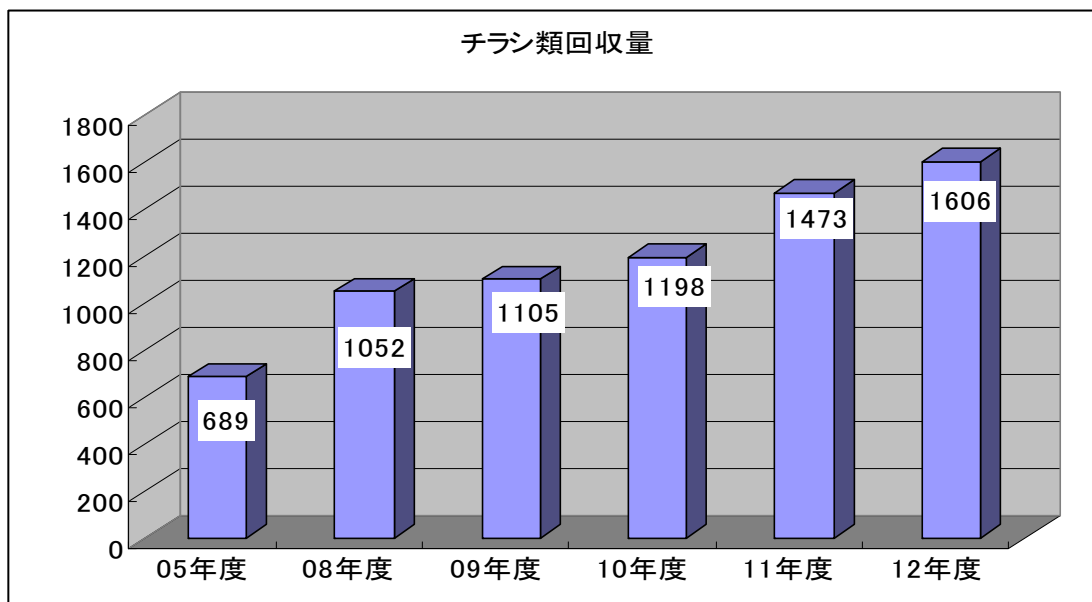
Aペットシート（再生原料）になって、たまごパックなどになります。としぎコープのすべての店舗、デリ宅配センターで回収しています。素材の違うものが混入するとリサイクルできなくなります。コープで販売したたまごパックに限ります。

● アルミ缶



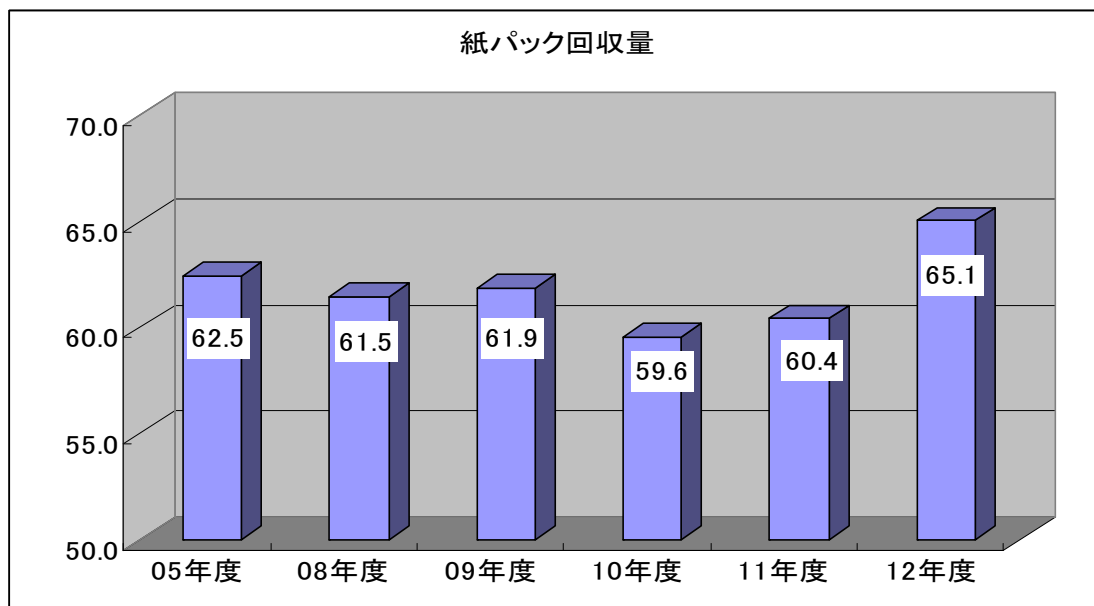
アルミ缶は、スーパーマーケット全4店舗で回収し、県内2ヶ所の共同作業所に引き取っていただいています。共同作業所では、再度分別を徹底して、アルミの再生原料として企業に買い取ってもらい、活動資金の一部として役立てています。一部ミニコープでも回収を始めました。

● チラシ類



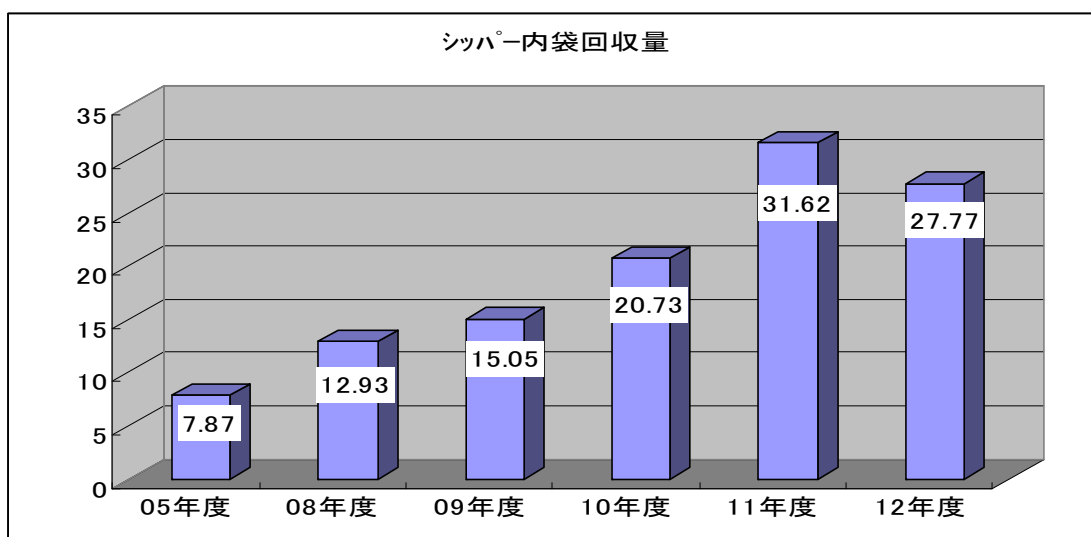
資源紙の回収の対象は、とちぎコープで配付する商品のカタログ類です。個人情報を含む紙類については、個人情報の漏えい防止に充分に配慮してリサイクルを行なっています。デリ宅配センターで回収しています。店頭では回収しておりません。

● 紙パック



紙パックは、牛乳やコーヒー・紅茶、ジュース類などの飲料（酒類の紙容器でアルミ使用も可）の紙製のパックを対象に、とちぎコープの全店舗、及び、コープデリ宅配センターで回収しています。ABパックについても、2009年度途中から開始しました。未晒し（茶色い紙）のパックについては回収していません。トイレットペーパーやティッシュペーパーに再生されます。

● シッパー内袋



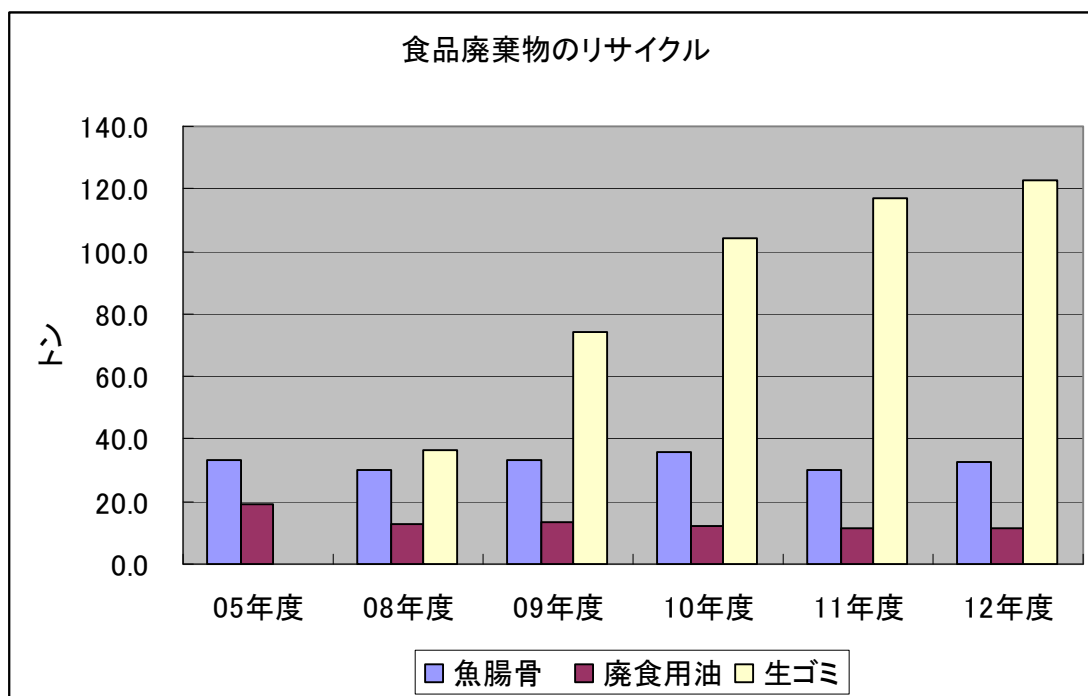
シッパー内袋（共同購入で使用されている、発泡スチロール製の通い箱の中で商品を入れるために使用しているポリエチレン製の袋）は、商品の配送時に回収しています。ビニール袋（ポリ袋）などに再生されています。

【事業活動での廃棄物のリサイクル】

事業活動において使用するダンボール箱や発泡スチロールの魚箱、また店舗から排出される「魚のあら」や惣菜部門の廃棄食用油、農産部門の生ゴミもリサイクルしています。

魚のあら（魚腸骨）は排出される全量が家畜や養殖魚の飼料になります。廃棄食用油はBDF燃料に加工し、とちぎコープのデリ宅配の配送トラックの燃料にしています。生ごみはリサイクルされてたい肥になります。そのたい肥を使って育てた野菜やくだものは店舗の地場野菜コーナーで販売し、食品リサイクルループを形成しています。

単位:トン	05年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度
魚腸骨	33.2	30.3	33.5	35.5	30.0	32.7
廃食用油	19.4	13.0	13.2	12.3	11.7	11.7
生ゴミ	-	36.6	73.9	104.5	117.0	123.1
魚箱	10.8	5.9	7.6	7.9	8.2	7.1
ダンボール	-	-	172.7	341.3	386.0	377.4

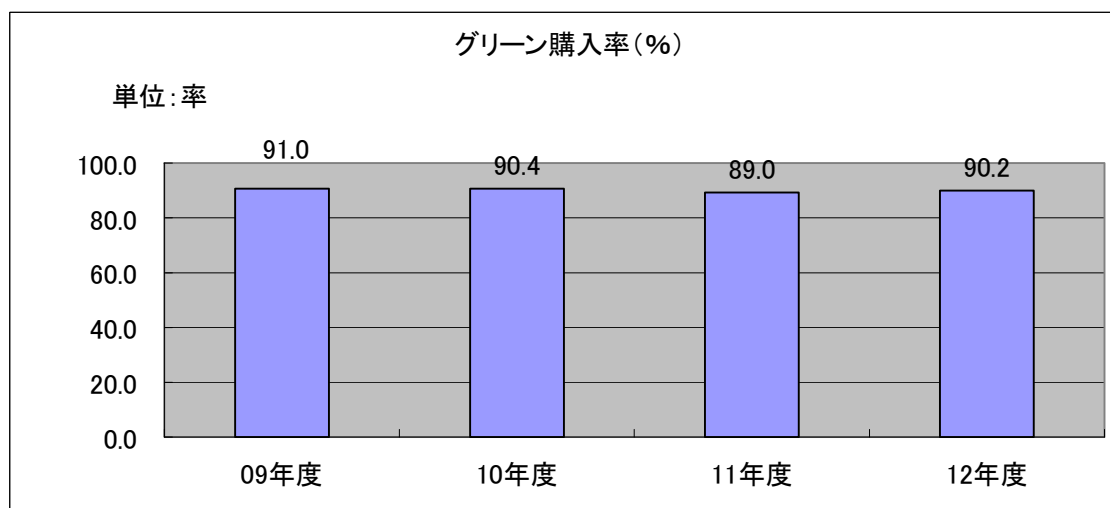


資源や資材の無駄な使用をなくし、

使用する資材は積極的にグリーン購入をすすめます。

【グリーン購入】

	2011年度	2012年度	前年比	評価
購入率	90.2%	89.0%	101.3%	↑



とちぎコープでは事務用品や文具、事務所等での消耗品を購入する場合には環境に配慮した環境ラベルなどが張ってある商品を積極的に選択するグリーン購入に努めています。グリーン商品を対象としたグリーン購入比率が90%を超える状況となったので、この状態を維持できるよう確実に運用管理していきます。

従事者の教育・訓練に関すること

とちぎコープEMSガイドブック2012年版を6月に作成し、力量評価と連動した定期教育が開始され7月度で終了をしました。

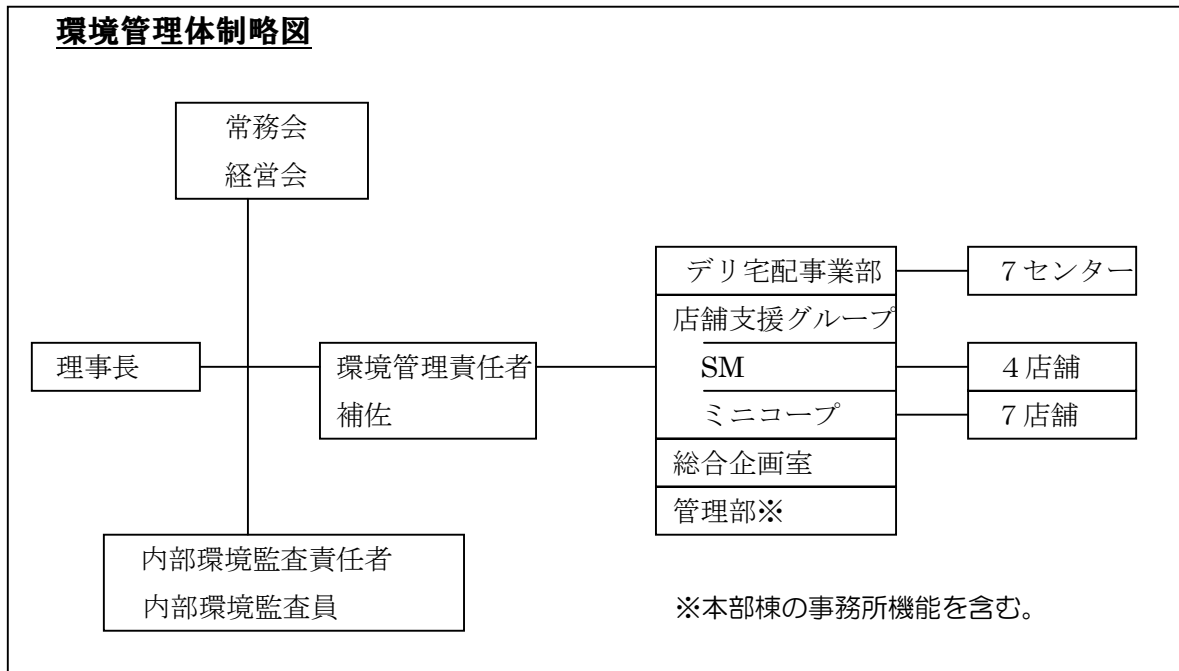


環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務のシステムの一環として推進しています。環境マネジメントの運営に関わる論議は、常務会、経営会、及び各部門の機関会議の中で行っています。

【 環境管理体制 】

環境マネジメントシステムも事業経営の一部であるとの考えから、環境マネジメントの体制を業務のマネジメントの体制と一致させています。



【 コミュニケーション 】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。回答については、「組合員の声」全体のデータベースの中で管理しています。

2012年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

【 内部環境監査・ISO14001更新審査 】

内部環境監査

北関東三生協 EMS の統一3年目となり、昨年度に引き続き「被監査部署別監査項目一覧表」を作成し、全ての部署で、全ての実施・維持項目を監査するのではなく、サンプリングによる確実な監査を実行しました。監査員はフォローアップセミナーを受講後、チームを組んで全部門・事業所で現地監査を行ないました。また、今年度も「内部環境監査」と「個人情報保護監査」を同時に行いました。

重大な不適合は0件(前年差±0件)、軽微な不適合が7件(+2件)、観察が20件(-2件)、推奨20件(-7件)と昨年に引き続き重大な不適合はありませんでした。各指摘事項47件については各々是正処置および是正項目の有効性を確認しました。

ISO14001:2004維持審査

2003年3月に、とちぎコープとしてISO14001の認証を取得し、2009年度より北関東先生今日統一マネジメントシステムの構築のための協議を進め、2010年度下期より運用を開始しました。2012年度は認証範囲を北関東三生協各本部として縮小し、2013年3月5日～13日に、ムーディ・インターナショナル・サーティフィケーション株式会社(UKAS認定の審査登録機関(認定番号014))の維持審査を受け、不適合0件、よい点が3件、観察事項が2件、改善の機会が2件の指摘を受けて、2015年3月19日までの認証期間の維持が認められました。



【とちぎコープの概要】

(2013年3月現在)

理事長	古口 葉子
組合員数	218,780人
出資金	69億3107万円
事業高	248億9651万円
職員数	正規237人、定時734人(正規換算数367人)

事業所

○配送センター 7ヶ所

西那須野センター(那須塩原市)

高根沢センター(高根沢町)

今市センター(日光市)

宇都宮センター(宇都宮市)

壬生センター(壬生町)

小山センター(小山市)

足利センター(足利市)

○ミニコープ 7店舗

コープ矢板(矢板市)

コープ晃望台(鹿沼市)

コープ金井台(宇都宮市)

コープ城東(小山市)

コープ野木(野木町)

コープ富岡(佐野町)

コープ利保(足利市)

※売場面積50坪タイプの小型店

○スーパーマーケット(SM店) 4店舗

コープ越戸(宇都宮市)

コープ鶴田(宇都宮市)

コープおもちゃのまち(壬生町)

コープ栃木(栃木市)

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット。

○とちぎコープ本部(宇都宮市)

発行日 2013年6月18日

とちぎコープ生活協同組合

専務理事 福田 雅彦

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町 858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114